



# かわら版あんず

第 38 号

発行責任者 金岡 けい子  
〒316-0035 日立市川尻町 7-32-5  
TEL. 0294-42-8176

## 07年・年忘れ会

夏祭りとならんで、フレンドリーあんずの二大懇親会のひとつ“年忘れ会”が12月16日に日立福祉プラザにおいて行なわれました。今年初めての試みとして全員のプレゼント交換会、アルコール抜き昼間の開催でしたが、参加者97名（うち子ども10名）が楽しいひと時をすごしました。

一年頑張った日本語講座出席者の表彰に続いて、生徒さんによる開会の言葉やユニークなご挨拶に拍手喝采、司会の方がたも動物の着ぐるみを着て頑張ってください会場を和ませていました。

半田さんのギター独奏を皮切りに、山田マギーさんのダンスやモントーヤさんのリズムカルなペルーの民族舞踊の熱演があり、フィジー出身のニューマヤさんを中心とした“千の風になって”を

日本語で歌いました。また、みんなで浴衣を着て踊った“日立音頭”や 金曜教室の皆さんによる“八木節”など盛りだくさん

のアトラクションと楽しかった風船わりや〇×ゲームに会場はおお盛り上がり、拍手と笑いの渦に満ちていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、閉会にあたり、1年の嫌なことは忘れて、来る年の期待を胸に、日本語教室を頑張ることを約束して、散会となりました。

梅津 慶子



踊って 踊って 参加して



着ぐるみ



ごちそう



プレゼント

# まつり

## 女性センターまつり

国際交流、モントーヤさんのペルーの踊り、バザーで参加しました。  
バザー ～クラフト販売～：タイやラオスなどの国々から仕入れてきたクラフトを販売しました。これらは、現地の女性自立支援の目的で日本から技術支援をうけて作られたもので、各国・民族の伝統工芸が活かされた作品です。手作りなので、全て模様が違う刺繍がほどこしてあったり、色合いが違う柄の生地だったり、手に取るとその良さが伝わる作品ばかりで好評でした。笑顔の接客効果も手伝ってか(?) 売り上げも上々でした。次回は皆さんもお一ついかがですか。

(木村 亜矢子)



## ひたち国際文化まつり

日本語発表会：4名が参加しました。

于 萍さん



いい経験になって人生にとっても成長できました。

馬 忠衛さん



発表のテーマは難しかったです、参加出来て大変よかったです。

シャマン セルカさん



日本語意見発表会は良い経験でした。参加して大変楽しかったです。

子ども達への環境教育比較  
(日本と中国)

地球環境を守るために  
私達が出来ること

ベンガル語の日本語  
学習へ及ぼす影響

(茨城県日本語スピーチ  
コンテストに出場)

イナガキ ヨシキさん  
：教育と育つ環境

屋台村：私たちは国際屋台村では、毎年恒例になっている韓国料理「チヂミ」と今回はじめて試みたチリ料理「エンパナーダ&カスーラ」を出品することになりました。チヂミはユンさんの手慣れた指導で順調に出来上がり頼もしい限りでした。中国の方にも手伝って頂きましたが、興味深げに料理のコツなどを聞いていたようです。またチリ料理はマヌーラさんが自国の料理を紹介することに大変喜び、熱の入った指導で楽しく作りました。みんな初めて作る料理に驚いたり、感心しながら夕方遅くまで下ごしらえに一生懸命頑張りました。台湾の伝統ゼリー菓子も加わり、スタッフ一丸となり冗談の飛び交う中、和気あいあいとできました。

私自身、初めての経験だったので、多少不安もありましたが、いざ出店してみると、そんな思いも一気に吹き飛びました。後日マヌーラさんのご主人から「久々に楽しかった。又協力したい」と聞いた時は、本当に嬉しかったです。

鈴木 るり

エンパナーダ：牛肉野菜たっぷりの小麦粉皮包み料理  
カスーラ：骨付き鶏肉、野菜たっぷりの鶏ガラのスープ

国際ひろば：ひたちシビックセンター5階の502号で日中友好協会と共同で開催しました。我々は、日本語教室の生徒さんの協力により、中国、インドネシア、チリの簡単な会話指導、文化紹介、歌、ゲームを中心に来訪者と共に楽しく交流をおこないました。親子の方や、中学生、年輩の来訪者、各世代の方との交流ができたことが大変有効でありました。(半田 善久)



日本文化体験 一生け花と琴体験コーナー：生け花体験は青竹を入れたグラスに和風の生け花をしました。展示室にはモダンな生け花と台湾出身大貫さんのアートペインティング作品、また日本語意見発表会場入口、屋台村食堂、5階会場廊下等 8名の生け花クラブメンバーの力作が会場を彩りました。お琴は例年“さくら”を演奏していましたが今年は“もみじ”を合奏しました。受付をしてくれた高校生も参加者と一緒にひきました。本当に楽しかったです。(福地 季子)



## 自治体国際協力促進事業モデル事業について

茨城県及びラオスに於ける共同研究会の開催

前回に引き続きクレア事業の報告を致します。

ラオス人民民主共和国への幼児教育支援プロジェクトの大きな柱である共同研究会がラオス国教育省一般教育局副局長ソンプーン・マースワン氏、ドンカムサーン教員養成学校校長ポンバシット・ルアンシットサクダー氏、同副校長ウィラー・セーンサワン女史の3名を招聘し平成19年11月4日から10日間に亘り開催されました。

視察団は県知事表敬訪問の後、県内の教育機関に於いて視察研修を実施、ラオス国の保育の現状や教育者の育成を急務とする施策について熱心に質問されていました。

共同研究会では、教本作成についてラオスの現状や環境に即し、教育現場で全ての教員が容易に使えるような具体的内容の指導書の作成を目指すことに決まりました。

11月7日の歓迎パーティーは約80名が出席し、両国の友好を願って終始なごやかに、且つ活発な交流が行なわれフィナーレはラオスの踊りを全員で輪になって踊りました。

離日前日には、支える会の長谷川会長宅でお別れ会が開かれ、ラオスの方々から招聘への感謝の言葉をいただき、全日程を無事に終え帰国されました。

新年を迎え、1月23日からラオスに於いての音楽を中心にした3日間のワークショップにはビエンチャン周辺の幼稚園の先生45名が受講し、熱気あふれる研修会となりました。この様子はラオスの新聞にも写真付きで掲載されました。

又、ラオスでの具体的な内容構成も終え、これから本格的な教本作成作業の開始です。

金岡 けい子



文具贈呈



輪になって



教本作成



共同研究会

### 「お惣菜教室」活動報告

第3回は12月9日に13名の参加者で開催、レシピは赤魚煮付け、きんぴら、切干大根の煮付け、田作り。フルーツきんとんなどでお節料理に活用できることが狙いです。

アクをとる、炒める、ダシを取る、蒸らす、煮付ける、湯せん等々の言葉が、生徒には耳新しく「？」となる。講師役の先生が説明、生徒がますます興味を持ち、教室はたちまち日本語会話の実践の場となりました。主婦である外国人の妻は、夫や子どもに日本の惣菜を日常的に作る事ができなくて、つつい自国の惣菜を作ることが多いらしいです。「日本食を覚えたい」と言う生徒さんの熱い思いが伝わってきました。料理を一緒につくることを通し日本の習慣や文化をも実践的に学び合い、国の違いを越えた交流が生まれてきました。

次回は3月2日(日)ひな祭りに因んで、ちらし寿司と甘酒を作ります。今後奇数月の第1日曜日、9:30~13:00、会瀬交流センターで開催します。

作った料理は毎回みんなでワイワイ言いながら、お昼に楽しく食べます。美味しいんです、これがまた。どうぞ皆さん、一緒にお料理を楽しみましょう

安藤 勝

## 故郷紹介（金森さんの故郷チリ）

チリと言えば、一般日本人の間では、チリ硝石、チリサーモン、チリワインぐらいでしか知られていませんが、それは南米ペルー、アルゼンチンブラジルのように、日本人の大衆移民を受け入れなかった為です。しかし、第一次世界大戦の末期、日本が鉄不足の時、チリは日本に対してチリの軍艦を渡し日本に協力をしています。このように日チ両国親善関係は昔からありました。チリは、南米大陸の太平洋側に面し南北の4329Kmしかない細長い国です。

北部はアタカマ砂漠地帯には、大きな銅鉱山が有り、南部は森林地帯で美しい湖、火山(富士山に似たボルカン オソルノ)が有り、又南極に近いパタゴニアではカニ、ウニの海産物が有り、中央部にある首都サンチャゴでの近くは田園地帯があり、おいしいリンゴ、ブドウ、ミカンが穫れます。このように、自然環境に恵まれた美しい国です。年々チリ/日本の貿易は盛んになり、少なかった日本人も増えています。特に、商社関係の人達がチリに住み、約300家族の日系人が

国名：チリ共和国(REPUBLICA DE CHILE)  
首都：サンティアゴ(SANTIAGO)  
国土面積：75万6096Km<sup>2</sup>  
人口：約1800万人  
通貨：チリ・ペソ(PESO CHILENO)



祝祭日

1月1日 元旦  
5月1日 労働者の日  
5月21日 海軍記念日  
6月28日 聖ペテロと聖パウロの日  
8月15日 聖母昇天際  
9月18日 独立記念日  
9月19日 陸軍記念日  
10月12日 アメリカ大陸発見の日  
11月1日 万世祭  
12月8日 聖母マリアの日  
12月25日 クリスマス

チリ全国に住んでいます。チリ人は、すごく外国人に対し親切です。特に日本人にたいしては尊敬の意を持っています。(戦後の日本の発展ぶりに驚いて、日本人は偉大だとおもっています。)モアイ像があるイースター島はチリの海岸から800Kmに有りこれはチリでは、イスラ・デ・パスクアと言っています。世界的に有名ですが、これがチリの領土とはあまりにも日本人に知られていません。

金森

## グループ紹介

日本語教室（火曜日 安部クラス）

私がフレンドリーあんずの日本語教室に参加させて頂いてからもうすぐ2年が経とうとしています。その間日本語を教えたというよりも一緒に日本語を勉強していたと表現するほうが正しいように思えてなりません。また日本語を勉強しようとする外国の方々の熱心さにも圧倒され、私もまだまだ色々な事を勉強しなくてはと、とてもよい刺激を受けています。

楽しい時間（金曜日 永井クラス）

現在は、中国・フィジー出身の学習者の方と一緒に勉強しています。まだまだボランティア経験が浅いので、いつもタジタジな授業になってしまいます。教えることよりも、教えられることの方が多くのように思います。毎回、学習者の国や文化について日本語で会話するのがとても楽しみです。

## 安保先生 ありがとう

日本語教室の火曜教室で教えられていた安保一男先生が埼玉県に転居されるので退会されました。今まで、日本語のご指導の上に 夏祭り 年忘れ会 女性センター祭りなどに 永年海外で培われたノウハウを生かした活動をして下さいました。心から感謝申し上げます。ご健勝をお祈り申し上げます。

福地季子

## あしあと

- ・ 文具贈呈 11月7日 仙文化センターの牧野さんから多くの文具の寄贈があり来日中のラオスの教育視察団に手渡しました。
- ・ 教師懇談会 11月10日
- ・ 多文化共生シボジュール 11月12日
- ・ 社協ボランティア研修会 2月15日
- ・ 「外国人のこどもたちへの日本語個教育」講演 3月1日
- ・ 日本語養成講 11月2～2月23日

総会のおしらせ  
5月10日  
11時～

編集後記：記事を書いてくれた方の記事を出来るだけそのまま載せるようところがけた結果、字が小さい等、読みにくくなった点をかんべください。(半田)